

ラズベリーのハウス栽培

宮城県における加温促成と雨よけを利用したラズベリー生産

園芸栽培部 果樹チーム TEL:022-383-8134

研究の目的

ラズベリーは夏(6~7月)と秋(10~11月)の年2回収穫できます。しかし夏は梅雨時期にあたるため腐敗果が多くなったり、いずれの収穫期も期間が短いという問題があります。

そこで、雨を防ぎ、より長く収穫できるハウス栽培方法を開発しました。

研究成果

鉢植えしたラズベリーを、2月下旬から4月下旬にかけて加温し、ハウス栽培しました。サマーフェスティバルという品種は、無加温に比べ収穫期が約1か月早まり、夏期は5月下旬から、秋期は10月上旬から収穫でき、夏期の収穫期間は約1.5倍に拡大しました。

また雨除けすることにより腐敗果がほとんど発生しませんでした。



左：ハウス内の鉢植えしたラズベリー



右上：熟したラズベリー

ダイエット効果
もあり、若い女
性に大人気！



右下：収穫したラズベリー

普及等の見込

ラズベリーはケーキやお菓子などに使われ、最近ではその機能性も注目され、需要が急速に伸びています。しかし、現在使われているラズベリーはほとんどが冷凍の外国産であり、新鮮な国産ラズベリーが求められています。今回の研究によって、宮城県でのラズベリー栽培が可能であることが示され、これから新規果樹品目として広く普及していくことが期待されます。

宮城県
農業・園芸総合研究所

宮城県名取市高館川上字東金剛寺1番地
TEL: 022-383-8111(代表) FAX: 022-383-9907(代表)
ホームページ: http://www.pref.miyagi.jp/res_center/
E-mail: marc-fk@pref.miyagi.jp(代表)